

博報堂・堂上研氏がiUの教授に就任 2025年度からプロジェクトを推進

iU（東京都墨田区、学長 中村伊知哉、<http://www.i-u.ac.jp>）は、株式会社博報堂 ウェルビーイングメディア事業 Wellulu編集部プロデューサーである堂上 研（どのうえ・けん）氏が2025年度から正教授に就任することを決定しました。

iUは「プロジェクト教授」と称する非常勤の正教授ポジションを創設します。学生や客員教員・研究員が参加するゼミを開設することを通じて産学連携プロジェクトを率います。2025年度までに総勢10名程度のプロジェクト教授を採用する計画です。

堂上 研氏はその1名です。（面白法人カヤックCEOの柳澤大輔氏、起業家・国際社会文化学者のカンハンナ氏の就任も決定しています。）

■ 堂上 研氏 プロフィール



1999年 国際基督教大学教養学部卒業、博報堂入社。主に食品・飲料・金融・エネルギーのマーケティングプロデュースに従事した後、2012年には博報堂ビジネスアーツで、事業化クリエイティブのプロデュースを担当。2019年、博報堂内の新規事業開発組織「ミライの事業室」設立、室長代理・ビジネスデザインディレクターに就任。現在はウェルビーイングメディア事業Wellulu編集部プロデューサー（<https://wellulu.com/>）ほか社内外の委員も務める。

Better Co-Beingプロジェクトファウンダー、経団連DXタスクフォース委員、日本イノベーション協会 理事、「ウェルビーイング市場を拓く技術開発組織」（日経BP）編集協力。

■ 担当プロジェクト「ウェルビーイング共創学」

企業内起業家の育成・インキュベーションによる事業創出をベースとした、ウェルビーイングとビジネス共創というテーマでプロジェクトを走らせる。本プロジェクトは、ウェルビーイング共創産業を生むことを主眼とする。生活者の「生きる」に関わるQOLの向上、ヘルスケア・家族との関係・食・睡眠・コミュニティ・介護などウェルビーイングな生活をつくるために、新たな生活者に価値をデザインする。ウェルビーイングの「Nice to have」のものを、ビジネスとして「must have」へと、共感の中から事業共創を生み出す。

■ 堂上 研氏のコメント

「生きる」を共創するということはどういうことだろうか？ そもそも、ひとりひとりのウェルビーイングな生活は、ひとりひとり違って良いと思っています。自分の価値観の押し付けではなく、お互いがお互いをリスペクトし、利他の気持ちをもって、自分の想いを開放する。そんなコミュニティが生まれていけばと思っています。そもそもビジネスとは、だれかを幸せにするために発明されてきたはず。Wellulu（ウェルル）で出会った人たちとのつながりをウェルビーイングへ。自分たちが、主体性と協調性と多様性の先に生まれる新たな可能性をいっしょに探していきましょう。みなさまとの共創の機会に今からワクワクしています。

「生きる」をビジネス共創する10の行動指針

- ① まずは、自分を好きになる
- ② 生活者にとってのウェルビーイングを探求する
- ③ 常に「問い」を立てることからはじめる
- ④ リベラルアーツ視点で、アンラーニングする
- ⑤ 失敗を恐れず、行動するスピードを求める
- ⑥ 構想で終わらない、常に新しいことをやってみる
- ⑦ 隠しごとはしない、すべてをオープンにする
- ⑧ 相手の立場に立って、リスペクトする
- ⑨ 時代を先読みして、未来の生活者を巻き込む
- ⑩ プレイフルネスに、生きるを楽しむ

■ iU 中村伊知哉学長のコメント



ウェルビーイングとビジネス共創。旬です。ウェルビーイングメディア「Wellulu」なる発明品を持ち込んで、堂上さんがiUで何を生み出されるか。新しいウェルビーイングを作ってくれるはず。博報堂からの教授派遣。そのメディア、デザイン、クリエイティビティーの強みも持ち込んでくださることを期待します。

<大学概要>

■大学・学部学科名

- ・大学名：「情報経営イノベーション専門職大学」 ※愛称「iU（あいゆう）」
- ・学部名：情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

情報と経営でイノベーションを起こす人材を育成する、デジタルとビジネスの国際大学。

AI、ソーシャル、web3、eスポーツ、デザイン思考、メディア、VR/AR、マーケティング、オタク、メタバース、セキュリティ……。プロジェクト授業、4ヶ月インターン、そして恐らく世界初の「全員起業」。

全員が起業に成功すれば就職率がゼロになるので、目標就職率ゼロ。 起業数42、起業増加率日本一。

だが多くは失敗する。失敗から学ぶ「失敗大学」。コンピテンシー：行動偏差値がトップ級。 結果、就職率97.5%。連携企業800社、客員教員1000人。学生より教授のほうが多い、プロのコミュニティの中で学ぶ大学。

研究所「B Lab」をベースとして、地域DX、超校歌、超人スポーツ、ニューロダイバーシティ等86プロジェクトが走っている。

2025年度には、eスポーツの学習・活動・インターン・起業を行う「eスポーツコース」も設ける。

入学式、卒業式などイベントは学生が企画・運営。自分でつくる大学。デジタル1st。日本初のPC・ネットあり入試を導入。

理念は「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」。

それ、おもしろい？ それ、あたらしい？

■学長

中村伊知哉（なかむらいちや）



京都大学特任教授、東京大学研究員、慶應義塾大学特別招聘教授、デジタル政策財団理事長、CIP協議会理事長、国際公共経済学会会長、日本eスポーツ連合特別顧問、大阪・関西万博2025 事業化支援PTプロジェクトリーダー、理化学研究所コーディネーターなどを兼務。

1984年、ロックバンド「少年ナイフ」のディレクターを経て郵政省入省。MITメディアラボ客員教授、スタンフォード日本センター研究所長、慶應義塾大学教授を経て、2020年4月よりiU学長。

内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省などの参与・委員を歴任。

著書に『新版 超ヒマ社会をつくるーアフターコロナはネコの時代ー』（ヨシモトブックス）、『コンテンツと国家戦略』（角川EPUB選書）など多数。

1961年生まれ。京都大学経済学部卒、大阪大学博士課程単位取得退学。博士（政策・メディア）。

■所在地

・本校舎：東京都墨田区文花1-18-13

・サテライトオフィス：東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー8階



左：本校舎
右：サテライトオフィス

・学生数：744名 ・専任教員数：27名

■教育理念

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」

■ 学びの特色

「ビジネス」「ICT」「グローバルコミュニケーション」この3つが学びの柱

① 論理的思考で世の中に変革を起こす【ビジネス】

ビジネスの仕組みを理解し、マーケティング、マネジメント、財務、法務などの専門知識を学習

さらに、必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じて、課題発見からビジネスプランの立案までを繰り返し学ぶことで、実践力を身に付ける

② 情報通信技術の可能性を知る【ICT】

急速に進化する世界で自身のアイデアを形にし、世界へ発信する力となるデジタル技術を身に付ける

プログラミングやデータ処理、ネットワークといった基礎技術から、AI、データサイエンスなどの最新領域をカバーするカリキュラムを展開

③ 国境を越えて世界中の人と協働する【グローバルコミュニケーション】

卒業後に現場で生きるビジネス英語を中心に、異文化理解、国際情報やグローバルビジネスを学び、ボーダーレスな共創・活躍を実現するための多角的な国際感覚を養い、英語でのビジネスピッチが行えるまでを学び、実社会で活躍できる人材を育成

全員インターンシップ×全員起業×オンライン学習

- ・インターンシップとリアルプロジェクト：1人640時間のインターン、実ビジネスの中でハンズオンのリアルプロジェクト教育を実施
- ・全員起業：必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じて、全員が在学中に起業にチャレンジ。希望者には事業化まで伴走するプログラムや資金提供、大学の所在地を使った登記などをサポート
- ・オンラインを活用した授業サポート：自ら積極的に学ぶための環境を用意

■ 育成人材像

- ・ICTを活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことのできる人材
- ・ICTを活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する起業家

【本リリースに関するお問い合わせ先】

iU 情報経営イノベーション専門職大学 TEL : 03-5655-1555 E-mail : info@i-u.ac.jp